

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ 福岡市中学校図書館教育研究会 の総会がひらかれました (報告)

同研究会では「自ら学ぶ力を育て、豊かな心を培う学校図書館」という研究テーマのもと、日々の研究活動の他、研究会主催による研修会や各中学校の図書委員を対象にした図書委員交流会、福岡市子ども読書フォーラムへの参加等々、意欲的に活動を行っています。

先日、今年度の総会が福岡市立野間中学校の学校図書館で行われました。会長には新たに福岡市立多々良中央中学校の瀧口博之校長が就任し、「若者の読書事情には二極化傾向が憂慮されています。社会人としての素養の高さは、子どもの頃の読書量によるところが大きいことを考えると、学校図書館教育の重要性もおのずとわかります。本市の教育施策も活用しながら、子どもたちの豊かな読書活動への誘いができればと思っています。」と挨拶されました。また、教育委員会指導課の池田主任指導主事からは「学校図書館には生徒自らが学ぶ学習・情報センターとしての機能と、豊かな感性や情操を育む読書センターとしての機能を発揮することが求められています。本市では『言葉を大切にする教育』を推進しているところであり、本に親しみ、本を活用する子どもたちの育成に努めましょう。」と挨拶がありました。

議題終了後の自己紹介を兼ねた自校の学校図書館教育の状況についての情報交換では、図書委員会の活性化、保護者やボランティアの活用、朝読書の充実、よみきかせの実践、自校に無い書籍の入手方法、寄贈本の取扱い、等々、様々な実践や疑問が報告されていました。



機能的かつ美しく整備された野間中学校学校図書館での総会の様子

□ Hello! 学校図書館 ～ 工夫がいっぱい 野間中学校 編 ～

野間中学校の学校図書館では、色々な工夫が見られました。実は、現教頭の山本富美江先生が司書教諭でかつて在籍してあったとのこと。せっかくですので、工夫点を紹介します。

①「学校図書館へ誘う、入口横のボード」

* 生徒に読んで欲しい、様々なおすすめ本が紹介されています。本の帯を活用するのは良いアイデアですね。



②「図書館だよりと立志コーナー」

* 図書館だよりは入口横に掲示してありました。また、野間中では「立志コーナー」を5年前から、すでに設けていたそうです。

* その隣のBEST BOOKの紹介は司書教諭の先生によるものだそうです。



③「様々な企画・特設コーナー」

* 左：その月や学校行事に応じて設定されるテーマ本のコーナー（4月は「仲間づくり」でした。）



* 真ん中：映画になった物語の原作を紹介する特設コーナー

* 右：新刊本の紹介コーナー：あちらこちらで小さなイーゼル（100円ショップで購入されたそうです）が大活躍です。これはいろいろ活用できそうですね。

④「図書委員・先生たちの手によるおすすめ本のコーナー」

* 左：野間中学校の先生方によるおすすめ本紹介のコーナー。書式が用意されてありました。

* 右：図書委員によるおすすめ本の紹介コーナー：書棚の背をうまく活用してあります。



□ 「本と出えるミュージアム 2015」 開催中です！

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館では、4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、ミュージアムにおける子どもの読書活動と学びの推進に資する事業として、3館が連携・共同して標記の事業が企画されました。5月24日（福岡アジア美術館は26日）までが開催期間です。最終日にはまだ間に合いますので、足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

以下、それぞれの館の実施内容を紹介します。

♪ 福岡市美術館

1) 「本で知るアートの世界」(1階 読書室)

美術に興味を持ち始めた人たち向けの本が並べられています。親子でくつろいで見て欲しいと、ソファも用意されています。



2) 「絵本になった作品たち」(2階 キッズコーナー



もりのたね)

2階の入り口横のキッズコーナーには福岡市美術館が所蔵している作家や作品に関連した絵本が集められています。(白いお人形は、もりのたねのキャラクターである「たねお」だそうです。

♪ 福岡アジア美術館

1) 「アジアのみんなの絵本」(8階「図書閲覧室」)

福岡アジア美術館には、りっぱな図書閲覧室が8階にあります。そこにはアジア約20ヶ国・地域の絵本が右の写真のように展示されています。絵本には読みどころが紹介されたポップもつけてあります。本棚の上の壁には、アジア各国の民芸品が飾りつけてあり、これまた見ものです。



また、複数の国で出版された同じ絵本（当然、その国の言葉で訳されています。）も集めてあります。(日本でも人気の「ぐりとぐら」のシリーズもありました。) 比べてみるのも楽しいですよ。

こちらの背面の壁には、アジア各国の美術本の表紙が飾ってあります。(左の写真の右上)



2)「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」(7階 キッズコーナー)

7階のキッズコーナーにも絵本があります。毎月第2・第4火曜日と第2・第4日曜日の11:30～と13:00～の1日2回、ボランティア

による「読み聞かせ」が行われています。

(注) 5月はミュージアム・ウィークで追加開催があります。

* 5月の「読み聞かせ」の日時(23日以降分)

・ 5月23日(土) ①11:30～ ②13:00～

・ 5月24日(日) ①11:30～ ②13:00～

・ 5月26日(火) ①11:30～ ②13:00～

いずれも定員：子どもと保護者10組程度(事前申込みは不要。当日先着順です。)



♪ 福岡市博物館

あまり知られていないかもしれませんが、博物館の2階にはりっぱな読書室があります。貴重な文献・図書の他、小・中学生向けの書籍も置いてあります。



○「いま、手にとってほしい本。いつか、手にとって欲しい本」(2階読書室)

子どもたちに今、読んで欲しい本がまとめて展示されています。(6月からの山本作兵衛の特別展を踏まえ、作兵衛関係の本もありました。)奥のソファで、ゆったりと本に親しめそうです。



いつか手にとって欲しい本のコーナーには、福岡市博物館の刊行物が多くおかれています。どれも全国的に高い評価を得ているものです。特に福岡市史や黒田家文書は多くの方に見て欲しいとのことでした。



福岡市総合図書館の「こどもの読書週間」の催しもあわせて紹介します。

福岡市総合図書館でも「こどもの読書週間」の期間中様々な催しが企画されています。これからでも間に合う催し・企画について二つ紹介します。

☆テーマ展示「児童文学作家 松谷みよ子さんの本」(5月31日まで)

「いないいないばあ」「龍の子太郎」「ちいさいモモちゃん」などで知られる松谷みよ子さんの本がまとめて展示されています。

☆「モデル児童図書目録」(幼児・小学生対象)の配布

目録は幼児用、初級、中級、上級に分かれています。このたび、幼児用が改訂されました。ご希望の方はこども図書館の窓口もしくは各区の分館(図書館)にお申し出ください。

□ 図書館 歳時記 (5月下旬～6月)

* 特集や企画等の展示
のヒントにどうぞ!

✿ 記念日関係

* 5月25日:「広辞苑 初版が発刊された日」

我が国の代表的な国語辞典のひとつである「広辞苑」は1955年のこの日、20年の編集作業をかけ、刊行されました。現在までで6版を重ねていますが、装丁は今も初版当時のものが踏襲されています。

* 5月27日:「百人一首の日」

藤原定家の「明月記」に、文暦2年(1235年)のこの日、定家が和歌百首を書写し、山荘の障子に貼ったという記述があり、これが百人一首の初出であるという説に基づいたものです。

* 6月1日:「気象記念日」

1875年(明治8年)のこの日、東京気象台(現在の気象庁)が設置され、気象観測が開始されたことを記念して、1942年、中央気象台により制定されました。

* 6月10日:「時の記念日」

1920年に東京天文台と生活改善同盟会によって制定されました。なぜ生活改善委員会が?と思われるでしょうが、これは「時間を守り生活の改善を図るとともに、時間の大切さを尊重する意識を広めること」がねらいの一つであることによります。なお、6月10日とされた理由は、日本初の時計(水時計)が鐘を打ったのがこの日であるという、日本書紀の記述に基づいています。

* 6月11日:「学校図書館の日」

平成9年のこの日に「学校図書館法の一部を改正する法律」が公布されたことを記念して、全国学校図書館協議会により制定されました。

* 6月12日:「アンネの日記の日」

アンネ・フランクの誕生日であるこの日、父から日記を贈られたアンネがこの日から日記を書き始めたことによるものです。

* 6月19日:「朗読の日」

朗読を通して文化活動と社会に貢献することを目的とする「日本朗読文化協会」が制定したもの。ろう(6)ど(10)く(9)の語呂合わせによります。声を出して読むことは、脳の働きにも良い影響を与えられています。また、ことばの持つ美しい響きにもあらためて気がつくものです。大いに薦めたいですね。

✿ 5月・6月に関係する文学者・詩人・俳人たち

♪ 5月・6月生まれ的主要文学関係者

5月29日 野口雨情 (1882) 6月14日 川端康成 (1899)

6月10日 モーリス・センダック (1928) 6月19日 太宰 治 (1909)

(米絵本作家「かいじゅうたちのいるところ」)

6月12日 ヨハン・スピリ (1827)

(スイス「アルプスの少女ハイジ」)



♪ 5月・6月に亡くなった主要文学関係者

5月28日 堀 辰雄 (1953) 6月15日 ダニエル・キス (2014)

5月29日 与謝野晶子 (1942) (米「アルジャーノンに花束を」)

6月10日 倉橋由美子 (2005) 6月13日 太宰 治 (1948)

□ 耳よりな情報です！ ～ 「役に立つサイト」の情報 ～

驚きのサイトを見つけました。「SLiic!! (スリック) 学校図書館プロジェクト」という名称のサイトです。スリックとは School Libraries Communication Collaboration and Combination の略です。学校現場で働く学校図書館員(学校司書等)と学校図書館やWebに関心のある研究者・学生が協力して、学校図書館に携わる人々の支援を目指している団体が運営しているサイトです。各種研究大会での研究発表やワークショップキャンプなども行っている団体です。

サイトを開くと、図書の補修、ブックコートのかけかた、図書館オリエンテーションの具体例等、知りたい実践内容が動画とともにアップされていたり、さらには、各自治体が作成した学校図書館運営マニュアルへのリンク集があるなど、有益な情報が満載です。ユーザ登録が求められる箇所もありますが、登録無しでも閲覧可能な情報がたくさんあります。

👉 「SLiic!!」学校図書館プロジェクトのアドレス：<http://www.sliic.org/>

□ 読書活動 あれやこれや！ (お願い)

学校での読書活動について具体的な活動例を紹介するコーナーです。読書量を増やす工夫、学校図書館の授業への活用例など、ぜひ、各学校の先生方、学校司書さん方からのご連絡をおよせください。

□ 図 書 館 員 の ひ み つ の 本 棚 《 No.109 》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが、毎月素敵な本を紹介してくださる
楽しみなコーナー。

今回の本は先生方にもぜひおすすめです。この本を読んで、こどもたちが詩という表現に
興味を持ち、自分でも書いてみようと思ってくれるとうれしいですね。

ちなみに、訳の金原瑞人さんは、芥川賞作家の金原ひとみさんのお父さんです。

☆ 今月の本：『あの犬が好き』（シャロン・クリーチ／作
金原 瑞人／訳 偕成社 2008年 1296円）

☞ <http://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/43594/1/109.pdf>

♪ あとがきにかえて * * * * *

小・中学校では運動会・体育会の練習で児童・生徒たちの大きな声で
活気にあふれていることでしょう。さて、運動会・体育会が終わると
梅雨の季節を迎えます。外に出られず、学校図書館に来る子どもたちも
増えるかもしれませんね。これを機に、読書の楽しさに目覚める子どもたちが増えると
いいですね。そのためにも、学校図書館へ誘う工夫を今から考えたいものです。



この通信ではできるだけ色々な学校の活動例を紹介したいと思っています。そのためにも、
各学校・園からの情報提供を何より必要としています。下記まで、どしどし情報をお寄せ
いただきますよう、よろしくお願いいたします。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課
電 話： 711-4655 FAX： 733-5538